



～魅力あるまちづくりを目指して～

中心市街地の環境の整備改善のため、
刈谷駅から刈谷市駅周辺における民間再開発を支援します。

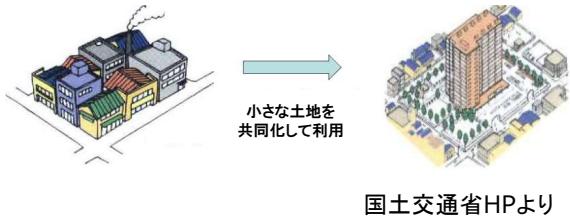


刈谷市優良建築物等整備事業補助金のご案内

刈谷市

優良建築物等整備事業とは

市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するため、土地の利用の共同化、高度化等に寄与する優良建築物等の整備に対して国や県・市が予算の範囲内で事業費の一部を補助する制度です。



国土交通省HPより

補助の概要

対象区域

- ①優良再開発型:A又はBに該当する区域
- ②都市再構築型:AかつBに該当する区域

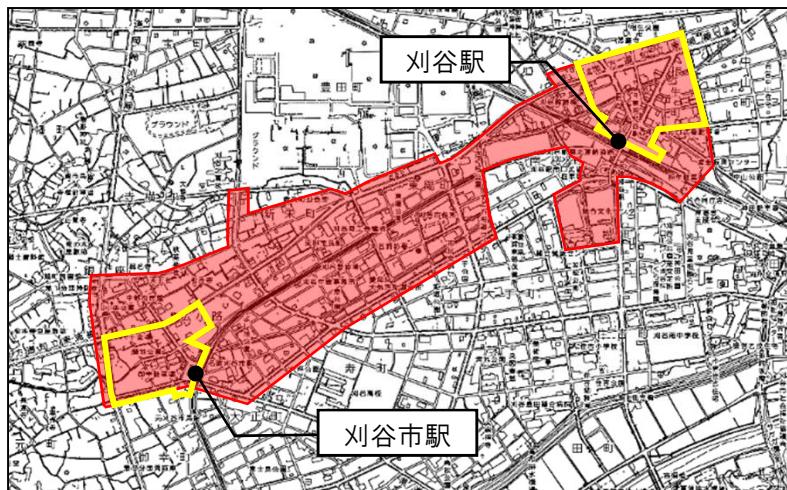
補助対象

- 調査設計計画費
- 土地整備費
- 共同施設整備費

補助割合

2/3以内

補助対象事業費	
施行者	1/3
補助金	2/3



A.商業地域
B.市街地総合再生基本計画に定める重点整備地区

拡充

補助金の増額

令和5年4月1日以降に着手する事業に適用

重点整備地区内(上記Bの地区)での事業では

- ①長期優良住宅の認定を受けると
対象の補助金が最大**1.2倍**^{*1}

②対象の補助金が**1.05倍**^{*2}

③公益性が高いものとして次頁の評価項目を3つ以上満たすと
対象の補助金が**1.15倍**^{*2}

対象:土地整備費、共同施設整備費

※1:全体延床面積に対する長期優良住宅の床面積割合が対象となり店舗等は含まない。

土地整備費	共同施設整備費	土地整備費	共同施設整備費
施行者 1/3		施行者 1/5	
補助金 2/3		補助金 4/5	
通常	1.2倍	通常	①に該当する事業

対象:共同施設整備費

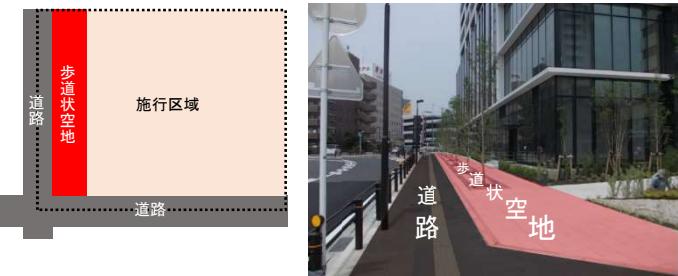
※2:①と併用する場合は、①の適用外を対象とする。

共同施設整備費	共同施設整備費
施行者 1/3	施行者 7/30
補助金 2/3	補助金 23/30
通常	③に該当する事業

評価項目

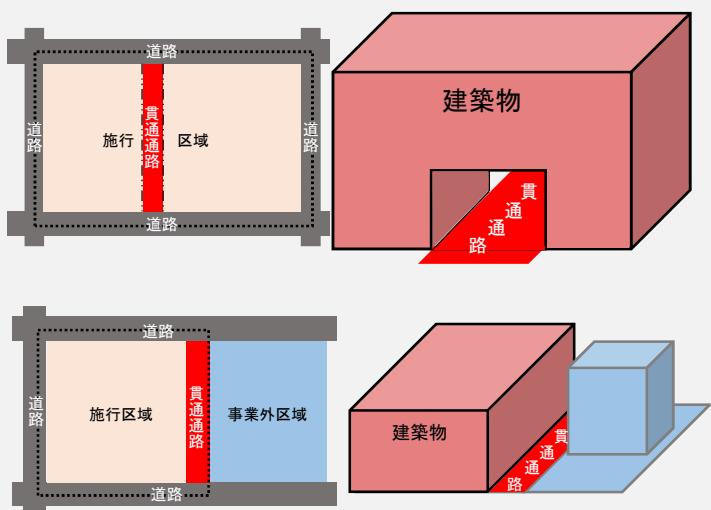
①歩道状空地の確保

- 前面道路に沿って、敷地の端から端まで設けられるもので幅員2m以上のもの
- 前面道路の歩道との段差がなく利用が可能なもの



②貫通通路の確保

- 区域内を通り抜けることで回遊性や利便性を向上させる幅員2m以上のもの



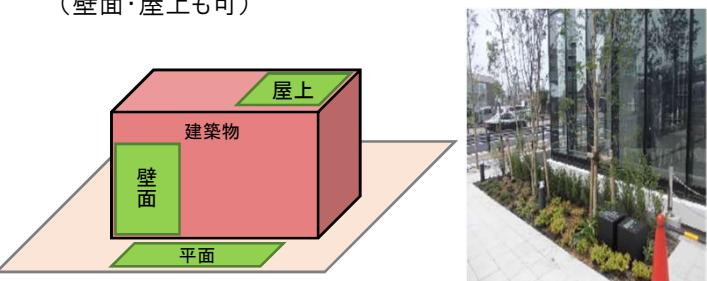
③広場状空地の確保

- 50m²以上で、連続して4m以上道路等に接しているもの



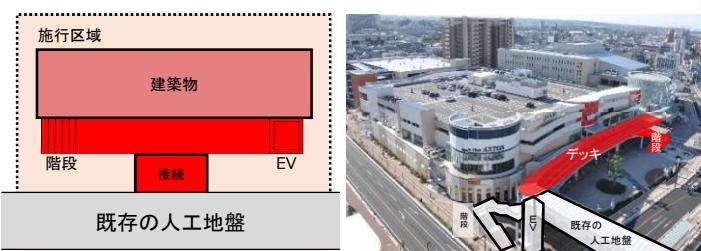
④緑化の推進

- 敷地面積の10%以上の面積を緑化するもの
(壁面・屋上も可)



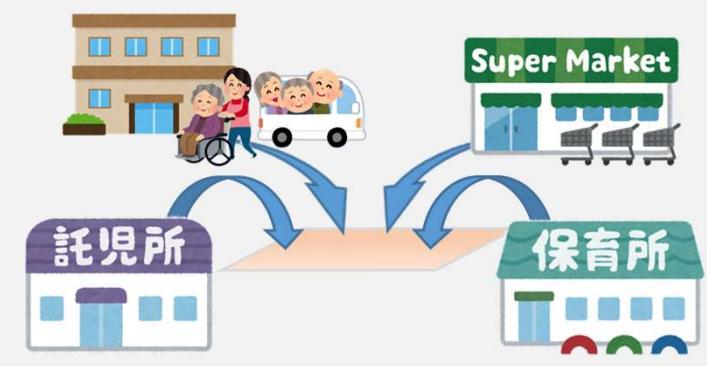
⑤ペデストリアンデッキ等の整備

- 既存の人工地盤との接続または新設の人工地盤(幅員2m以上)の整備とともに昇降機能を備え、回遊性や利便性を向上させるもの



⑥都市機能誘導施設の設置

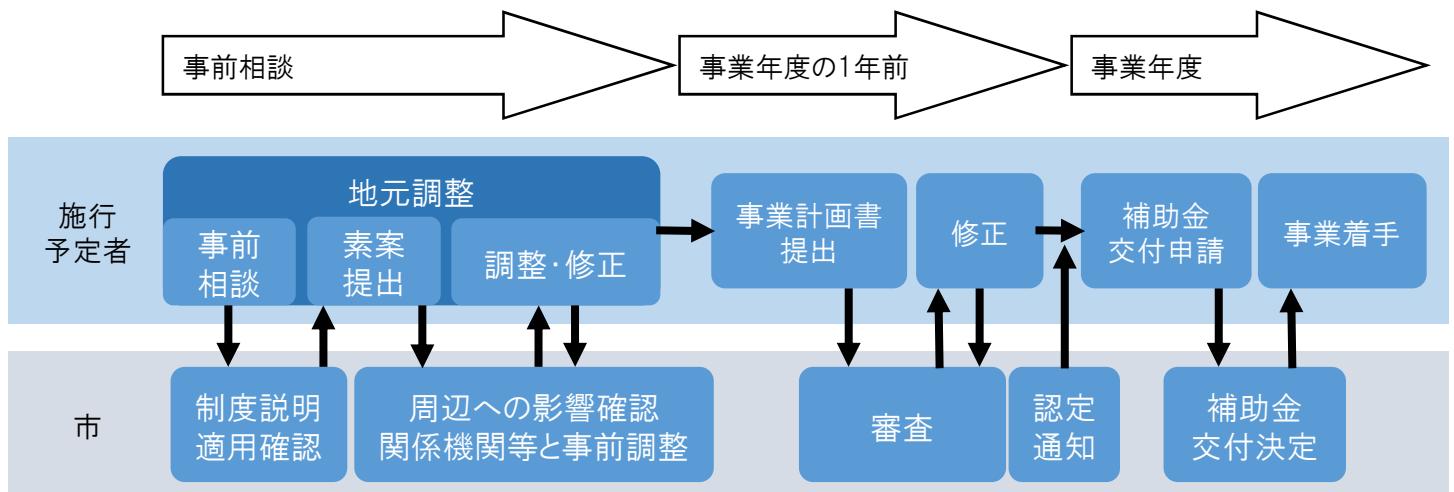
- 刈谷市立地適正化計画に定める都市機能誘導施設を設けるもの
例)子育て支援施設、スーパー、高齢者福祉施設など



⑦その他公益性・公共性が高いもの

評価項目の詳細及び具体的な事業計画に対する評価の適否については
必ず事前相談の際にご確認ください。

手続きの流れ



まずはお気軽にご相談ください

問合せ先

刈谷市役所 市街地整備課
電話:0566-62-1025(直通)
メール:shigaichi@city.kariya.lg.jp



補助要綱等は市HPよりご確認いただけます



令和4年9月発行